



“コロナ禍” 2年目の「年越し」

令和3年も、あと8日程となりました。保護者の皆様方におかれましては、どのような年の瀬をお迎えでしょうか。現在は、新型コロナウイルスの感染状況に一定の落ち着きが見られ、町の様子や人々の動き方は、昨年末のような緊迫した自粛ムードではなくなっているような気がします。（昨年末は、感染症の広がりが懸念され、年始の初詣を年内に済ませるような“幸先詣”が流行ったりしましたね・・・）

とは言え、オミクロン株の出現による第6波への心配は、医療従事者だけでなく誰もが気にしていることですね。もはや日常生活の一部となった『感染症対策を講じた生活様式』を、これからも全員で続けていくことで、拡大を抑制させるとともに、第6波の到来を少しでも遅らせるようにしたいものです。

今後1週間、何も起きない【穏やかな年越し】になってくれることを祈っています。

は、宣言・措置等が解除されてから
生きた。本当によくがんばったね！
ト、学習活動に全力で取り組んだね！



一（期よ
生今もう
懸で、な
命き児教
努力童育
力をこた
をとち活
重〜はが
ね」目き
てにのな
き向のけ
まか前か
しっのっ
たて目た
。、標時う

↑ こんな日常が、ずっと続きますように…（業間休み）

旭丘ならではの「豪雪」ならぬ「豪枯れ葉」！



これは、Aコース内の散策道の様子です。今年は12月になってから、大量の枯れ葉に見舞われ、二日もすると道が隠れるほどの「じゅうたん」になりました。（管理が大変なのです〜！）

玄関前のアスファルトにも、舞い落ちた枯れ葉が散在しています。（毎朝、山室先生が掃除をしてくださっています。）

アフターコロナに向けて(R4年度の計画)

今年も、次年度に向けての計画(教育課程の編成)を立てる時期になりました。今年度の成果や反省を踏まえて、教科学習や行事等における「目標」や「内容」「時間数」「生活時程」等の検証をし、改善案を練り上げる作業です。

昨年・今年と、どうしてもコロナ感染の状況を推測しながらの立案となっています。（「落ち着いていれば」と、「拡大状況ならば」の2パターンの想定です。）何回も会議を重ねながら、年間を見通したバランスの良い教育活動の計画になるように頑張っています。

そんな中で、コロナ禍が終息した後の話題になることもあります。コロナ以前と全く同じ形に戻すのか、ねらいを定めたスリム化を取り入れていくのか、どちらにシフトすればよいのか難しい判断を迫られる場面もあります。教員不足が問題となっている昨今では「働き方改革」の観点からの考察も必要ではないかと考えています。

近隣校の情報等も取り寄せながら、様々な観点からの意見を融合させて「旭丘っ子に一番必要なもの」を見定めた上で「旭丘っ子に一番ふさわしいやり方」を見つけたいと思っています。（完成は2月初旬頃の予定）

よい冬休みに！

よいお年をお迎えください！

コロナ禍の影響によって、その規模や期間等に違いはあるかもしれませんが、明日からの年末・年始時期は、帰省・旅行や年始等の家族・親族での行事、クリスマスや初詣等の季節行事が催されることと思います。子ども達にとっては「楽しみな冬休み」に入ります。

何かと我慢することの多い日々を過ごしてきた子ども達です。「心のふれあい」を大切にしたい温かい時間を少しでも多くもってくださるよう、ご配慮くださいませ。

最後になりましたが、1年間の本校学校教育へのご理解とご支援に対しまして、深く厚く感謝申し上げます。令和4年も何卒よろしくお願い致します。